

2025 年度健康スコアリングレポートの実施方針

2025 年 3 月 26 日

2025 年度における健康スコアリングレポートについては、2024 年度の効果検証アンケート、研修後アンケート及びヒアリングにて確認された課題と対策を評価軸に沿って整理し、2024 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループにおいて議論された内容を踏まえ、以下の方針で実施することとする。

(1) 対策の評価軸について

健康スコアリングレポート固有の価値や、2022 年度健康スコアリングの詳細設計に関するワーキンググループで定めた中長期方針（※）に基づき、取るべき対策の評価軸を定める。

評価軸 1 健康スコアリングレポートはコラボヘルスが進んでいない層をメインターゲットにしたアップデートや取組を優先する。

評価軸 2 健康スコアリングレポート固有の価値をより高めるためのアップデートや取組を優先する。

（※）コラボヘルスが進んでいない層の底上げに取り組むとともに、コラボヘルスが進んでいる層のニーズにも応えていく。

(2) コラボヘルスが進んでいない層の保険者への対策

- ・ コラボヘルスを推進するための研修事業の実施（評価軸 1）

健康課題の解決に向けた対策の立案・実行に係るノウハウを持っていないなどのコラボヘルスが進んでいない層の保険者が抱える課題に対して、事業主と健康課題を共有し、保健事業を実行するまでのノウハウを提供するため研修事業を実施する。

研修内容については、2024 年度実施した研修において健保組合より寄せられた以下の観点の意見を踏まえ、より効果的な研修となるよう検討を行う。

- 事例紹介や健保組合同士の意見交換に重点を置いた研修カリキュラム
- オフライン開催の回数及び開催場所
- 単一、総合別や加入者数規模別の開催
- コラボヘルスの取組状況に応じたレベル別の開催

(3) コラボヘルスが進んでいる層の保険者への対策

- 健康スコアリングレポートの改修（評価軸2）

- 医療費データの詳細分析（疾患別医療費）の追加

- 保険者単位レポートに生活習慣病に関する医療費データを表示する。（高血圧症・脂質異常症・糖尿病の「傷病名コード」及び「医薬品コード」をもつレセプトを対象とし医療費を集計。ただし、上記3疾患の医療費に大きな影響を与えると考えられるがんに関連するレセプトは除外。）
- 疾患別の医療費データ掲載にあたっては、個人の特定につながらないように留意し、保険者に対する注意喚起を合わせて実施する。

- 40歳未満事業主健診データの反映

- 2026年度健康スコアリングレポートでのデータ反映を実現するため、2025年度は事業主健診データ随時提出の周知を行う。
- データの連続性を損なわないよう、40歳未満事業主健診データと40歳以上特定健診データは分けてレポートに掲載することを想定。

- 10名以上の全ての事業所（記号）のレポート作成

- 事業主マスタ入力項目の簡素化等の対策を行ったうえで、10名以上の全ての事業所（記号）についてレポートを作成し提供する。

- レポート提供時期の早期化

- 現行の運用スケジュールを見直し、レポート提供時期について可能な限り早期化を行う。
- 早期化に向けて、保険者に対して特定健診等の実績報告の早期提出依頼、及び事業主マスタ早期提出依頼等を行うとともに、2025年度保険者単位レポートについては2026年2月末の提供を目指す。

- 第4期特定健診制度改正対応

- 質問票の改訂に伴う飲酒、喫煙等のリスク保有者割合の定義変更を実施する。

以上